



吉田耕一議員(新政会)



●各議員のQRコードを読み取ると、その議員の一般質問の様子が視聴できます。

代表質問



よしだこういち
吉田 耕一議員

新政会



ゼロカーボンシティの 実現に向けた取組は

Q ゼロカーボンシティを実現するためにどのような取組を考えているのか。

A 令和4年度には、再生可能エネルギーの導入に向けた調査を実施した上で、坂出市再生可能エネルギー導入推進計画を策定します。

具体的な事業では、まず、宅配の再配達による温室効果ガスの増加に関し、再配達を減少させる取組として、宅配ボックスの設置に関する補助制度を創設します。

また、市内の道路照明灯をLED化し、使用電力を削減するとともに、本庁舎と教育会館の使用電力について再生可能エネルギー100%電力を導入し、温室効果ガスの削減を図っていきます。

なお、再生可能エネルギー利用促進のため、住宅用太陽光発電システム及び蓄電システムを設置する市民に対する補助も引き続き実施していきます。

(副市長)

商店街の将来像は

Q 商店街及びその周辺地域は、本市の将来を考える上で貴重な地域であるが、市長が考える将来像について伺う。

A 駅周辺のエリアの評価を上げることにより、中心市街地の価値を高め、商店街周辺にその好影響を波及・連鎖していくことが重要です。エリアの価値が高まることにより、積極的な民間投資が誘引され、マンションやアパート等の需要を生み出し、商店街及び周辺地域を住みたい場所に変えることができるものと考えています。そうすることで、自然と人が集まり、新しいまちが生まれてきます。

まずは、まちづくりの当事者として商店街及び周辺地域の方々に参加していただき、商店街における車両通行規制の緩和、ファザード整備、歩道・街路灯の整備など様々な観点から対話を始めていきたいと考えています。

(市長)

パートナーシップ宣誓制度 の導入を

Q 本市でも早急にパートナーシップ宣誓制度を導入する必要があるかと考えるが、所見を伺う。

A パートナーシップ宣誓制度は、その一方または双方が性的少数者であるカップルが、互いを人生のパートナーとして相互の協力による継続的な共同生活を営むことを宣言し、地方自治体が証明書を交付することで、婚姻に近い関係性を公認するものです。

本市における当該制度の導入については、市民の性的少数者への正しい知識と理解が重要と考えており、市広報紙やホームページなどを活用した啓発活動を行いながら、令和4年6月の導入に向けて取り組んでいきます。

(市長)

質問の主な項目

- ・ 新型コロナウイルス感染症について
- ・ 坂出北インテグレーションのフルインター化について
- ・ 道路行政について など